

## 無機・有機化学工業の動向について

令和8年4月30日

経済産業省

- 令和8年3月の生産・出荷については、中東情勢の影響のほかナフサ分解炉等における定期修理が集中的に行われたこともあり、生産量は前月比で減産となった一方、国内出荷については、在庫の活用により、ポリエチレンやポリプロピレンといった主要石油化学製品は前月並となっており、全体として供給を維持している。
- 在庫の状況についても、ポリエチレンやポリプロピレンといった中間段階の化学製品では国内需要の1.8カ月程度の水準を維持しており、日本全体として必要となる量を確保している。

### 主要品目の前月比増減(令和8年3月)

	生産	出荷	在庫
ポリエチレン	▲27.2%	+3.3%	▲15.8%
ポリプロピレン	▲15.2%	▲2.5%	▲9.9%

※季節調整前の実績値ベース